



ご挨拶

国際交流推進室 NEWS 第 32 号をお届けします。円安や物価高、航空運賃の上昇、さらには国際情勢の不安定化により、学生が海外へ踏み出すことは以前にも増して容易ではなくなっています。しかし、AI の急速な発展や世界の分断が進む今こそ、国際交流は単なる渡航経験にとどまらず、世界を多面的に理解し、異なる価値観と向き合う力を育む学びであるべきだと考えます。

国際交流推進室では、こうした時代にあっても学生が世界とつながる機会を着実に広げてまいります。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026 年 7 月

信州大学繊維学部 国際交流推進室長

小林 俊一

COIL の取り組みについて

繊維学部では、昨年から *COIL (国際協働オンライン学習) プログラムを実施しています。まずは、応用生物科学科の 2 年生が、ケニアのナイロビ大学の学生と、それぞれの研究分野についてオンラインで学習交流を行いました。多くの学生にとって、英語でのコミュニケーションは、最初は大きな挑戦ですが、自身が関心を持っているテーマでの学びの場であるため、意欲的に取り組んでいます。オンラインのため気軽に国際交流を経験することができ、英語コミュニケーション能力の向上にもつながっています。

今後は、この COIL 型学習を全 4 学科の 2・3 年生を対象とする継続的なプログラムへと発展させることを目標としています。

(グローバル化推進センター バレラ ジャスティン)

*COIL: Collaborative Online International Learning の略称



海外研修を終えて

今回の留学で最も印象に残ったのは、人との距離の近さです。オーストラリアでは、バス停で初めて会った現地の学生が気軽に話しかけてくれ、その後一緒に遊びに行くほど仲良くなりました。日本では見知らぬ人と会話をする機会は多くありませんが、現地では人とのつながりが自然に生まれることに驚きました。また、ホストファミリーとも毎晩リビングで会話をしながら過ごし、家族のように接してもらいました。

この経験から、語学力だけでなく、自分から関わろうとする姿勢が人とのつながりを生み出すことを学びました。留学前は英語を間違えることを気にしていましたが、実際には完璧な英語よりも相手と関わりたいという気持ちの方が大切だと感じました。

今後は、この留学で得た積極性を大学生活でも生かし、多様な価値観を持つ人と関わりながら視野を広げていきたいです。また、海外の人とも臆せず交流できる力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

(ウーロンゴン大学附属カレッジ英語研修プログラム参加: 応用生物科学科 2 年 藤井美羽)



2025 年度海外インターンシップ in Vietnam に参加した先進繊維工学コース 4 年の山本彩です。最初の 1 週間はビジネス英語を習い、残りの 3 週間はインターンシップを行いました。私の専攻は繊維ですが、非英語圏での英語教育に興味があり、ベトナムでのインターン先に学校を選びました。

現地では文化の違いによる驚きと発見の日々でした。独学していたベトナム語が、現地の先生や児童、バディとの交流や買い物で役立った喜びは忘れられません。留学前は文法や流暢さに自信がなく英会話に消極的でしたが、意欲的に話す姿勢が大切だと気づきました。失敗を恐れず話すのを心掛けたことで、英会話への苦手意識が薄まるのを実感しました。小学生に英語を教えるのは難しく挫折も味わいましたが、綿密に準備した日本文化紹介の授業は英語でやり遂げることができました。

今後は、学内の留学生と積極的に関わりつつ、外国語学習を継続したいです。

留学生ガイダンス・交流会

留学生の皆さんが日本で安心して充実した学生生活が送れるように、今年も5月28日に、上田警察署、上田市多文化共生推進協会、一般財団法人千曲会の皆様にご協力を得て、留学生ガイダンスを開催いたしました。在学生からは、様々なサークルや地域活動について、熱心に紹介がありました。

歓迎会では、教職員及び日本人学生を含めた約72名が参加し、ゲームや会話を楽しみました。



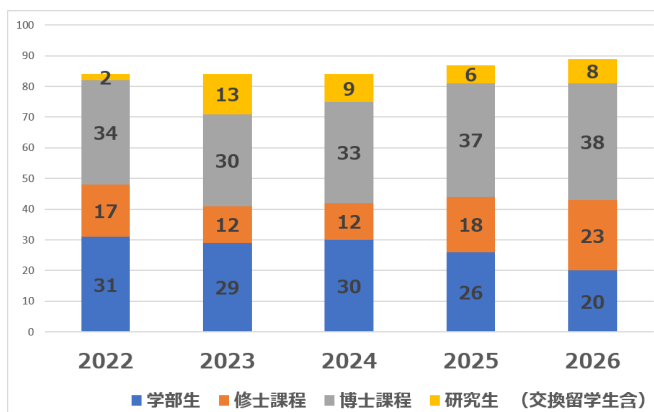
繊維学部 外国人留学生の動向

2026年前期に、12名の博士課程学生、10名の修士課程学生、4名の学部学生、8名の研究生(交換留学生含む)が入学しました。

7月現在の繊維学部(修士課程、博士課程含む)の留学生総数は89名になりました。

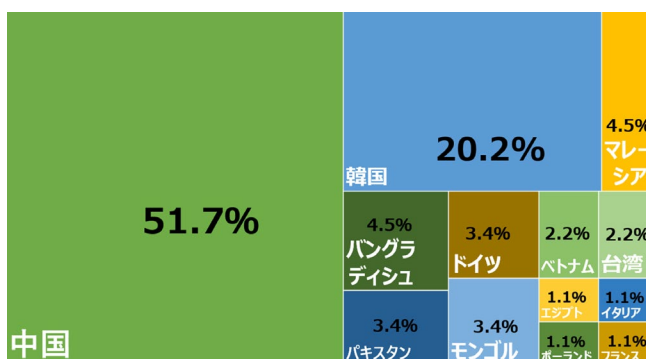
外国人留学生受入れ推移 2022～2026

2026年7月現在



外国人留学生出身国(地域) 割合

2026年7月現在



国際交流推進室 室員紹介(教員)

室長: 小林 俊一 (機械・ロボット学科)
副室長: 朱 春紅 (先進繊維・感性工学科)
室員: 金 翼水 (機能・ロボット学科)・金 晃屋 (先進繊維・感性工学科)・金井 博幸 (先進繊維・感性工学科)・佐古井 智紀 (先進繊維・感性工学科)・施 建 (機械・ロボット学科)・平田 雄一 (化学・材料学科)・高島 誠司 (応用生物科学科)・リ ジハ (繊維科学研究所)・ウラ アジーム (繊維科学研究所)・バレラ ジャスティン(グローバル化推進センター)

本ニュースへのご意見、ご要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス

(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/current/exchange/>